

県園芸療法士 14人に認定証

景観園芸学校で修了式

淡路市の県立淡路景観園芸学校で8日、園芸療法課程（1年）の5期生の修了式があり、20歳代から50歳代までの計14人（男性5人、女性9人）に、石原憲一郎校長から修了証書と県園芸療法士認定証が手渡された。

修了生は県内のほか大阪、秋田、神奈川、三重、鳥取の各府県出身者。石原校長は「介護予防サービスなどの時代要請もあり、園芸療法士の役割が重要になってくる。園芸療法、園芸療法士の社会的認知向上への努力を期待する」とあいさつした。【登口修】

平成19年8月9日(木)
毎日新聞 朝・夕
25 頁 淡路版